

## 病気は人生の夏休み

樋野興夫著

病気は人生の夏休みより

いまままでずっと忙しく働いてきたのに、病気になったためにポツカリと時間が空いてしまった。他の人は懸命に働いているのに、自分は毎日時間を持て余している。これといって何もすることがなく、社会から置いてきぼりにされている感じがする。このように自分の置かれた状況を憂えているとしたら……。

なに、焦ることはありません。病気は人生の夏休みと考えて、これまでやれなかつたことに、時間を使ってみてはいかがでしょうか。

私はある時期を境に、休みの時間をいかに有効に使うか考えるようになりました。そこで始めたのが「がん哲学外来」です。

それまで休日は雑事をしたり、1人でのんびり過ごしていました。それはそれで有意義でしたが、いまはもっと充実しています。

私にとって「がん哲学外来」は自分の時間をもっとも有効に使える場です。

急いで結論を出すことはありません。仕事のことは少し先延ばしにして、何か新しいことを始めてみるといいでしょう。

